

### 広角単焦点レンズ“RF24mm F1.8 MACRO IS STM”を発売 広い画角と大きなボケ表現を手軽に実現

キヤノンは、「EOS R システム」の交換レンズ「RF レンズ」の新製品として、広角単焦点レンズ“RF24mm F1.8 MACRO IS STM”を2022年8月下旬に発売します。



RF24mm F1.8 MACRO IS STM



広い画角とボケ味を生かした表現が可能



幅広い撮影シーンに対応

“RF24mm F1.8 MACRO IS STM”は、広い画角と大きなボケ表現が楽しめる大口径・広角単焦点レンズです。スナップ・ポートレートなどの静止画撮影や、需要が高まる動画撮影などの幅広いシーンに対応し、ユーザーの多様なニーズに応えます。

#### 1. 焦点距離 24mm の広角撮影による豊かな表現力

焦点距離 24mm の広い画角と強調しすぎない遠近表現により、静止画・動画双方の撮影において幅広いシーンで使用できます。さらに、最大撮影倍率 0.5 倍、最短撮影距離 0.14m のハーフマクロ撮影機能を備え、焦点距離 24mm の広い画角を生かしたワイドマクロ撮影を楽しめます。

#### 2. F1.8 の明るい開放絞り値によるボケ味を生かした表現が可能

F1.8 の明るい開放絞り値により、背景や手前を美しくぼかした描写や、大きな玉ボケを生かした表現を楽しむことができます。また、明るさを生かして速いシャッター速度を設定することで、被写体ブレを抑えた撮影が可能です。さらに、1 枚の「プラスチックモールド非球面レンズ」と 1 枚の「UD レンズ<sup>※1</sup>」を含む 9 群 11 枚の光学設計により、画質劣化の原因となる諸収差を低減し、高画質を実現しています。

#### 3. 優れた手ブレ補正効果や小型・軽量設計により、快適な静止画・動画撮影を実現

レンズ内光学式手ブレ補正機構により 5.0 段<sup>※2</sup>、ボディ内手ブレ補正機構を搭載している EOS R シリーズのカメラ<sup>※3</sup>との組み合わせでは、カメラとレンズによる協調制御を実現し、「EOS R5」（2020年7月発売）装着時は 6.5 段<sup>※4</sup>の手ブレ補正効果を発揮します。さらに、気軽に持ち運ぶことができる、全長約 63.1mm、質量約 270g の小型・軽量を実現し、歩きながらの動画撮影など、さまざまなシーンにおいて快適な撮影を実現します。

製品名	希望小売価格	発売日
RF24mm F1.8 MACRO IS STM	オープン価格	2022年8月下旬

※1.「UD（Ultra Low Dispersion = 特殊低分散）ガラス」を用いたレンズ。

※2.「EOS R」（2018年10月発売）使用時、CIPA 規格に準拠（Yaw/Pitch 方向）。

※3.「EOS R5」、「EOS R6」（2020年8月発売）、「EOS R3」（2021年11月発売）、「EOS R7」（2022年6月発売）。2022年7月12日現在。

※4. CIPA 規格に準拠（Yaw/Pitch 方向）。

## 〈“RF24mm F1.8 MACRO IS STM”の主な特長〉

### 1. 焦点距離 24mm の広角撮影による豊かな表現力

- 焦点距離 24mm の広い画角と強調しすぎない遠近表現により、静止画・動画双方の撮影において幅広いシーンで使用可能。
- 最大撮影倍率 0.5 倍、最短撮影距離 0.14m のハーフマクロ撮影機能を搭載。焦点距離 24mm の広い画角を生かしたワイドマクロ撮影を実現。
- EOS R シリーズの APS-C サイズ CMOS センサー搭載のカメラ装着時には、35mm 判換算で焦点距離約 38mm 相当の広角単焦点レンズとして使用可能。スナップなどに適した自然な画角とレンズの明るさを生かした表現を実現。



使い勝手の良い焦点距離 24mm の画角



広い画角を生かしたワイドマクロ撮影



APS-C サイズカメラ「EOS R7」で撮影  
(35mm 判換算約 38mm 相当)

### 2. F1.8 の明るい開放絞り値によるボケ味を生かした表現が可能

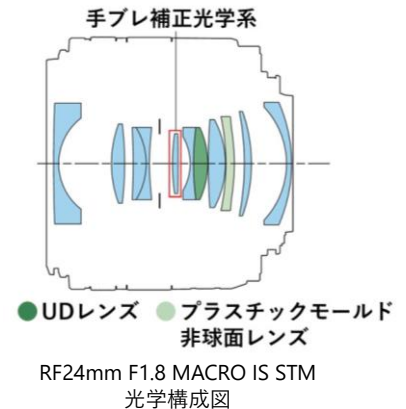
- F1.8 の明るい開放絞り値により、背景や手前を美しくぼかした描写や、大きな玉ボケを生かした表現が可能。
- レンズの明るさを生かして速いシャッタースピードを設定することで、被写体ブレを抑えた撮影が可能。
- 「EOS R システム」の特長である大口径・ショートバックフォーカス<sup>※1</sup>を生かし、撮像面近くに大口径レンズを配置。さらに、1 枚の「プラスチックモールド非球面レンズ」と 1 枚の「UD レンズ」を含む 9 群 11 枚の光学設計により、画質劣化の原因となる諸収差を低減し、高画質を実現。



ボケ味の比較  
RF24mm F1.8 MACRO IS STM の作例  
(絞り値開放で撮影)



ボケ味の比較  
RF24-105mm F4-7.1 IS STM の作例  
(絞り値開放／焦点距離 24mm で撮影)



※1. 最後部のレンズ面の頂点から撮像面までの光軸上の距離が短いこと。

### 3. 優れた手ブレ補正効果や小型・軽量設計により、快適な静止画・動画撮影を実現

- レンズ内光学式手ブレ補正機構により 5.0 段の手ブレ補正効果を実現。
- ボディー内手ブレ補正機構を搭載している EOS R シリーズのカメラとの組み合わせでは、カメラとレンズによる協調制御を実現し、「EOS R5」装着時は、6.5 段の手ブレ補正効果を発揮。
- 気軽に持ち運ぶことができる、全長約 63.1mm、質量約 270g の小型・軽量を実現。

## 〈製品仕様について〉

製品仕様の詳細はキヤノンホームページをご参照ください。 <https://cweb.canon.jp/eos/rf/lineup/rf24-f18/>